

令和 8 年度 全国健康保険協会北海道支部評議会（第 1 回）
開催結果概要

令和 8 年 7 月 22 日（水）に全国健康保険協会北海道支部において、評議会の構成人数 9 名に対し 9 名の出席をいただき、令和 8 年度全国健康保険協会北海道支部評議会第 1 回を開催いたしました。その概要につきましては、以下のとおりです。

1. 日時 令和 8 年 7 月 22 日（水） 14 : 00 ～ 16 : 00
2. 場所 全国健康保険協会北海道支部
 （THE PEAK SAPPORO 4 階 会議室 A）
3. 出席評議員 大西評議員、片桐評議員、定好評議員、武山評議員、鄭評議員
 寺田評議員、永田評議員、野村評議員、牧野評議員（五十音順）
4. 議事

 （1） 2025 年度決算（見込み）について
 （2） 2025 年度北海道支部事業結果報告について
 （3） その他
5. 議事に対する評議員からの主なご意見・ご発言
 以下のとおり。

議題 1：2025 年度決算（見込み）について

【被保険者代表】

- ・以下 2 点について、本部へ上申いただきたい。
また、令和 9 年度平均保険料率の議論はこれからであることは理解しているが、更に引き下げるべきという意見であることを表明する。
① 2025 年度決算（見込み）のポイントについて、準備金残高が過去最高を更新した状況で、「世界情勢が不透明であり、保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測が難しい」「保険給付費の継続的な増加が見込まれていること」といったネガティブな部分が強調されていることに強い違和感がある。
また、後期高齢者支援金について、前年度から 1,634 億円増加したとあるが、精算額の増加分である 705 億円の内訳を見ると、2024 年度の 520 億円の戻り分も含

め増加したと説明することに強い違和感がある。

総じて「今後の財政状況は厳しい」ことを殊更強調していると感じている。

- ② インセンティブ制度の在り方について、0.01%の拠出も含め抜本的に見直すべき。

議題2：2025年度北海道支部事業結果報告について

【被保険者代表】

- ・資料が見やすくなり、事務局として工夫されていると思った。KPIは前年より数値が増加していれば達成でもよいのではないかな。なお、資料内に前年度数値（結果）の記載があればより分かりやすい。
- ・電子申請、けんぽアプリの利用状況はどのような状況か。病気で入院する従業員に対して、アプリ操作を指示するのは難しく感じる。紙の申請の利便性も確実にある。

【事務局】

- ・けんぽアプリは10万ダウンロードを達成したところであり、電子申請の利用率は10.1%となっている。電子申請は、自宅で手続きできること、郵送による手間や費用が減ること等のメリットがあるため、引き続き事業主及び経済団体の皆様などのお力を借りながら周知広報に努めてまいりたい。

【被保険者代表】

- ・健診、特定保健指導、未治療者の受診勧奨のKPIは本部が全国一律に設定しているのか。一律に設定しているのであれば何を根拠に数値を設定しているのか。
- ・KPIが未達成になると職員のモチベーション維持に懸念があるため、実態とKPIに乖離があることについて、問題意識を持った。

【事務局】

- ・KPIは本部から設定されている。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、5年先を見据え、国から協会けんぽ全体での実施率等についての目標設定が課されている。5年後にその目標に到達するように各年度の目標が設定されている。

【事業主代表】

- ・KPIを多数設定している中で、特に重要なものが明確でないように感じる。どのKPIが医療費適正化や保険料率引き下げにつながるのかということが明確になると良いのではないかな。
- ・レセプト点検の査定率について、理想は医療機関が正しく請求し、査定率が0%になることではないのか。

【事務局】

- KPI については、様々なご指摘をいただいているところ。現在検討を進めている来年度からの中期戦略プランにおいては、検討メニュー内に KPI の見直しも当然含まれている。いわゆる国から示された目標は強く意識しなければならない一方で、職員の頑張りや、我々の取組結果を正しく評価いただくためには、どのような指標が適切かという視点で検討を進めていきたい。
- レセプト点検については、評議員ご指摘のとおり、法令や解釈等に基づき医療機関が正しい請求をすることが理想である。ただ、現状は全て正しい解釈等に基づいて請求されているわけではないため、二次審査には一定程度効果がある。

【学識経験者】

- KPI について、達成、未達成のみで評価するのは難しい。中長期的な目標設定に対し、少しずつ近づけていくという意味で、今年度は未達成だが目標値には近づいているというような評価の方が職員のモチベーションにもつながるのではないかな。
- 未治療者の医療機関受診率について、KPI を達成した要因が健診当日の受診勧奨となっているが、通常、当日に結果が把握できるのは血圧のみで、血糖、脂質は結果が出るまで時間がかかり当日の受診勧奨は難しいのではないかな。
また、血圧、血糖、脂質ごとの内訳も確認しなければ血圧の該当者のみ受診が増え、血糖、脂質の該当者は受診につながらないのではないかな。戦略的な受診勧奨の実施に向けて、そのような内訳も意識すべき。

【事務局】

- 血圧に基づく受診勧奨以外にも、前年に受診勧奨の対象者となり、現在も服薬していない方に通院指導を実施している。
また、一部の健診機関では当日に血液検査の結果が把握できるため、当日の結果に基づいた通院指導を実施している。

【被保険者代表】

- KPI のジェネリック医薬品使用割合は数量ベースと金額ベース、その両方を加味した数値なのか。都道府県医療費適正化計画にも金額ベースの目標が盛り込まれたことも踏まえ、金額ベースについても意識した取組を進めるべきではないかな。

【事務局】

- 本日お示しした KPI の結果は数量ベースの数値となっている。
評議員ご指摘のとおり、金額ベースも重要であり、バイオ後続品の使用促進等の取組

を進めているところ。

議題3：その他

- ・事務局より中期戦略プラン、都道府県単位保険料率の平準化措置の取扱いについて説明。
- ・意見、質問はなし。

以上